

**. 都市計画マスタープラン見直しの
基本的な考え方について**

1. 都市計画とは？

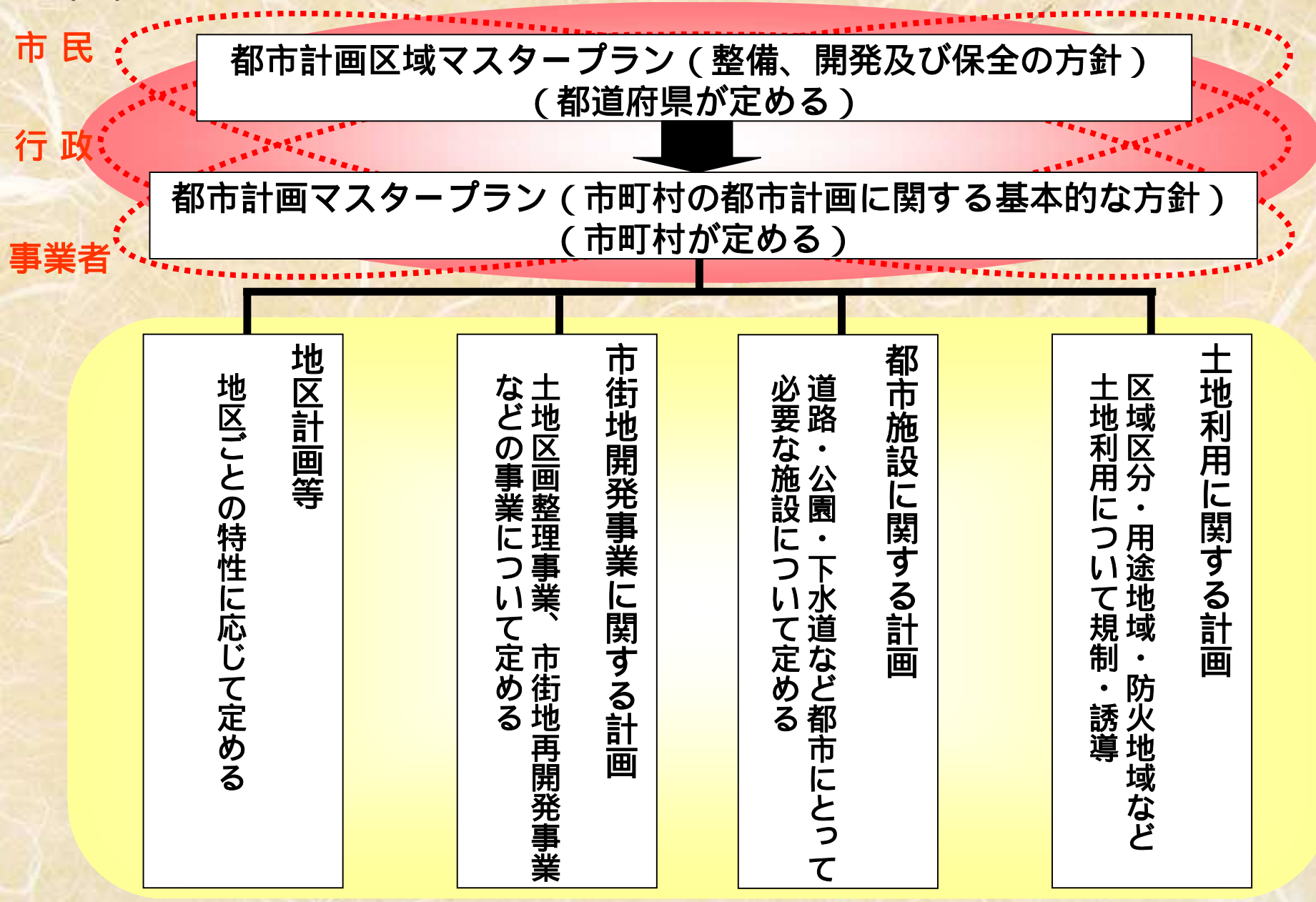
- (1) 都市計画の役割と体系
- (2) 都市計画区域マスタープランとは
- (3) 都市計画マスタープランとは

2. 岸和田市都市計画マスタープランの見直しについて

- (1) 都市計画マスタープラン【H10.3】について
- (2) 都市計画マスタープランの役割の変化
- (3) 都市計画マスタープラン見直しイメージについて

1. 都市計画とは？

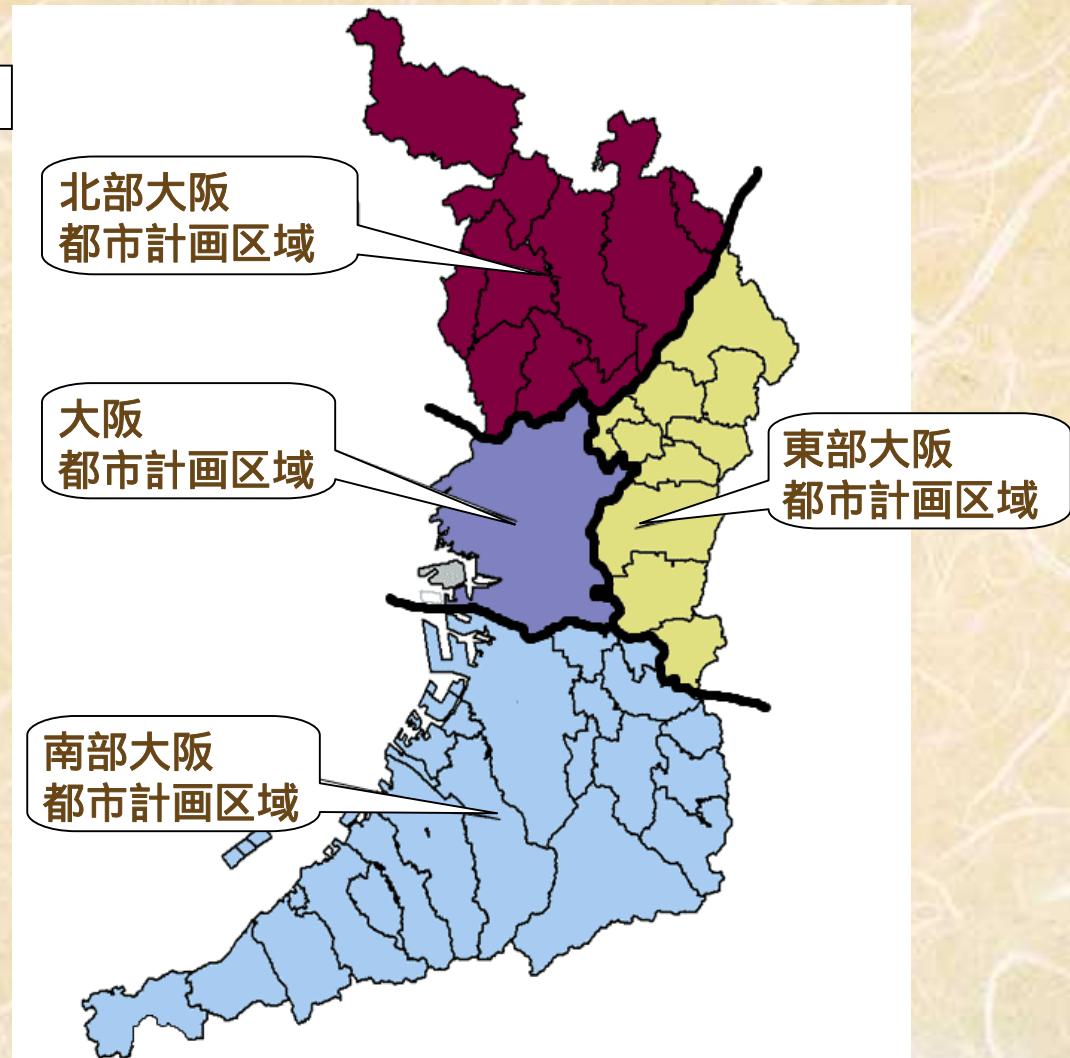
(1) 都市計画の役割と体系



(2) 都市計画区域マスタープランとは

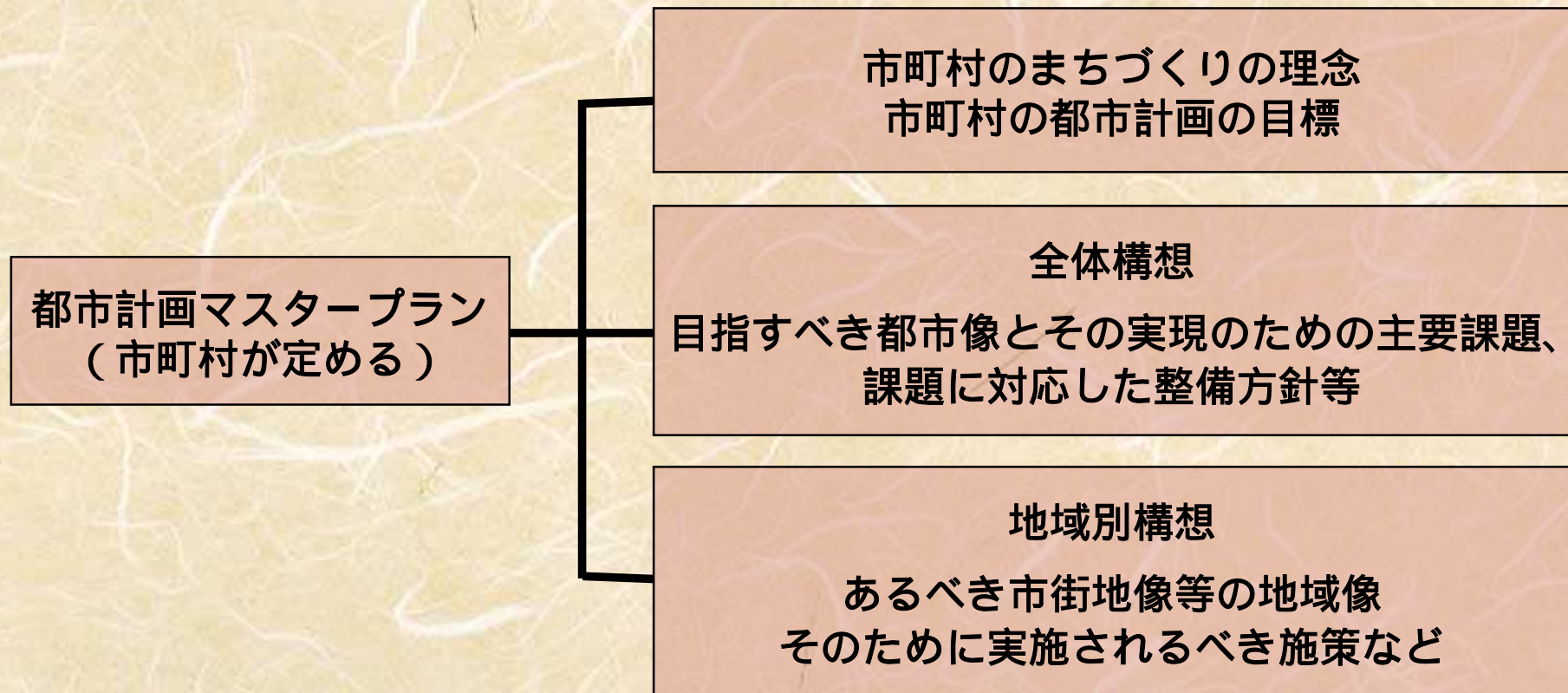
都道府県が、市町村を超える広域的見地から、都市計画区域を対象として、区域区分をはじめとした都市計画の基本的な方針を定めるものです。

大阪府の4つの都市計画区域



(3) 都市計画マスタープランとは

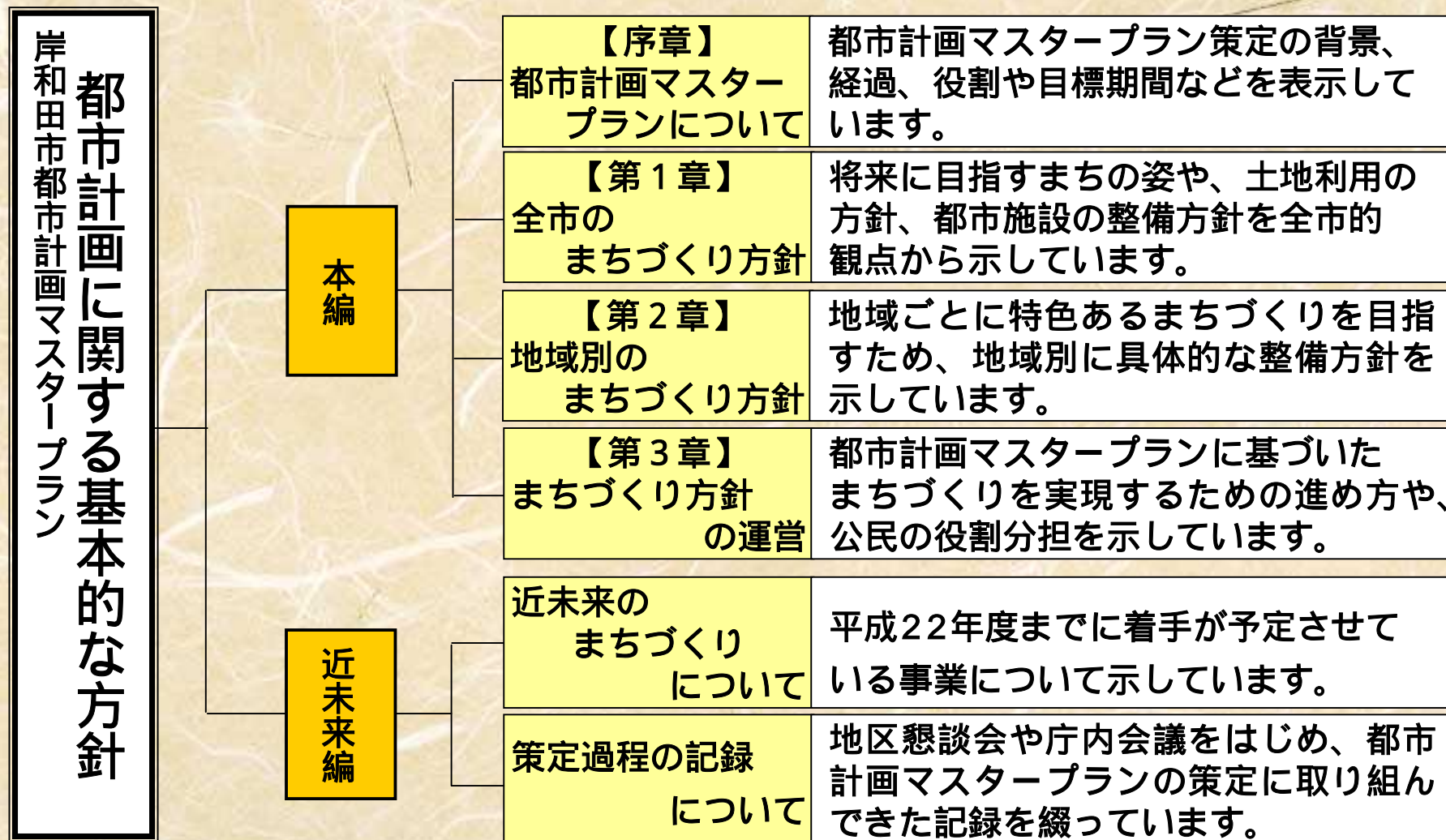
市町村が、市町村の総合計画並びに都市計画区域マスタープランに即し、市町村の区域を対象として、より地域に密着した見地から、その創意工夫の下に、市町村が定める都市計画の方針を定めるものです。



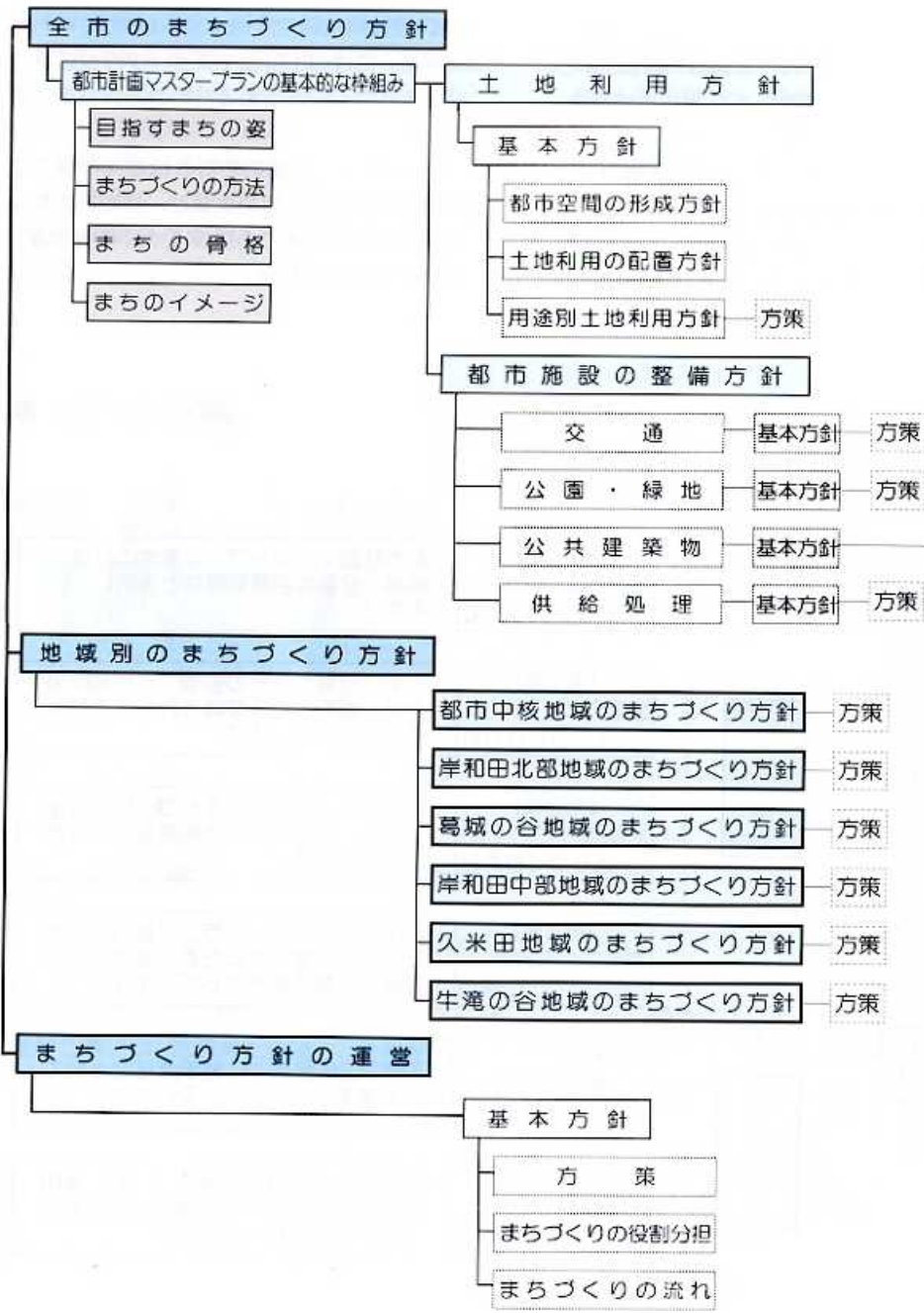
2. 岸和田市都市計画マスタープランの見直しについて

(1) 現都市計画マスタープラン【平成10年3月】について

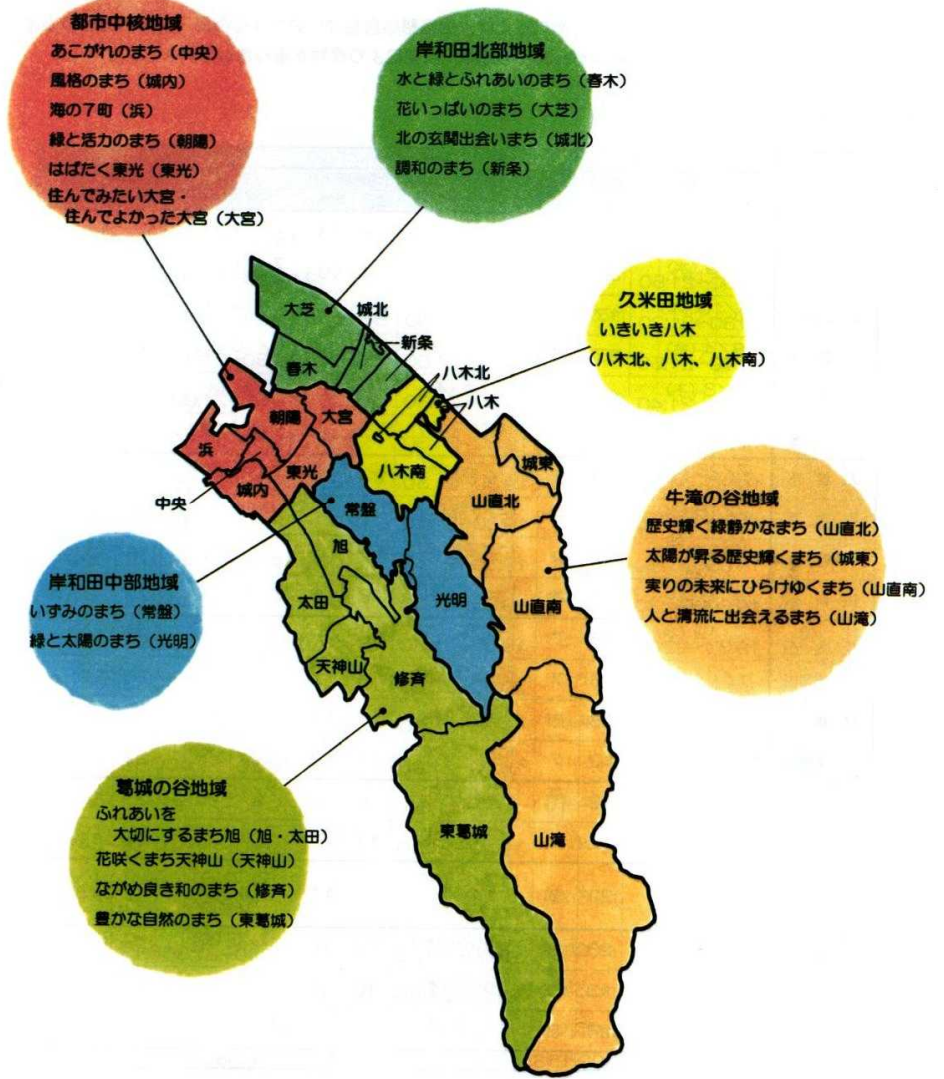
都市計画マスタープランの構成



都市計画マスタープランの方針・方策体系図



■ 地域の名称と地区の愛称



(2) 都市計画マスタープランの役割の変化

現 状

1) 都市計画法の改正

) 平成12年5月創設

地区計画等の案の申出制度 [都市計画法第16条第3項]

) 平成14年7月創設

都市計画提案制度 [都市計画法第21条の2]

地域のまちづくりに対する取り組みを今後の都市計画行政に積極的に取り込んでいくため、地域住民等の都市計画に対する能動的な参加を促進することとし、住民又はまちづくり団体からの都市計画の決定等の提案に係る手続きが新たに整備されました。

2) 現在の都市計画マスタープランの課題

これからの都市計画マスタープラン

実現すべき具体的な都市の将来像を示す

- ・ 市民、事業者、行政が都市の将来像を共有

生活マスタープラン

- ・ シンプルに・分かりやすく

個別の都市計画の決定・変更の指針となる

- ・ 個別の都市計画の根拠となるものであり、個別の都市計画の決定・変更されるべき方向性を示す指針としての役割

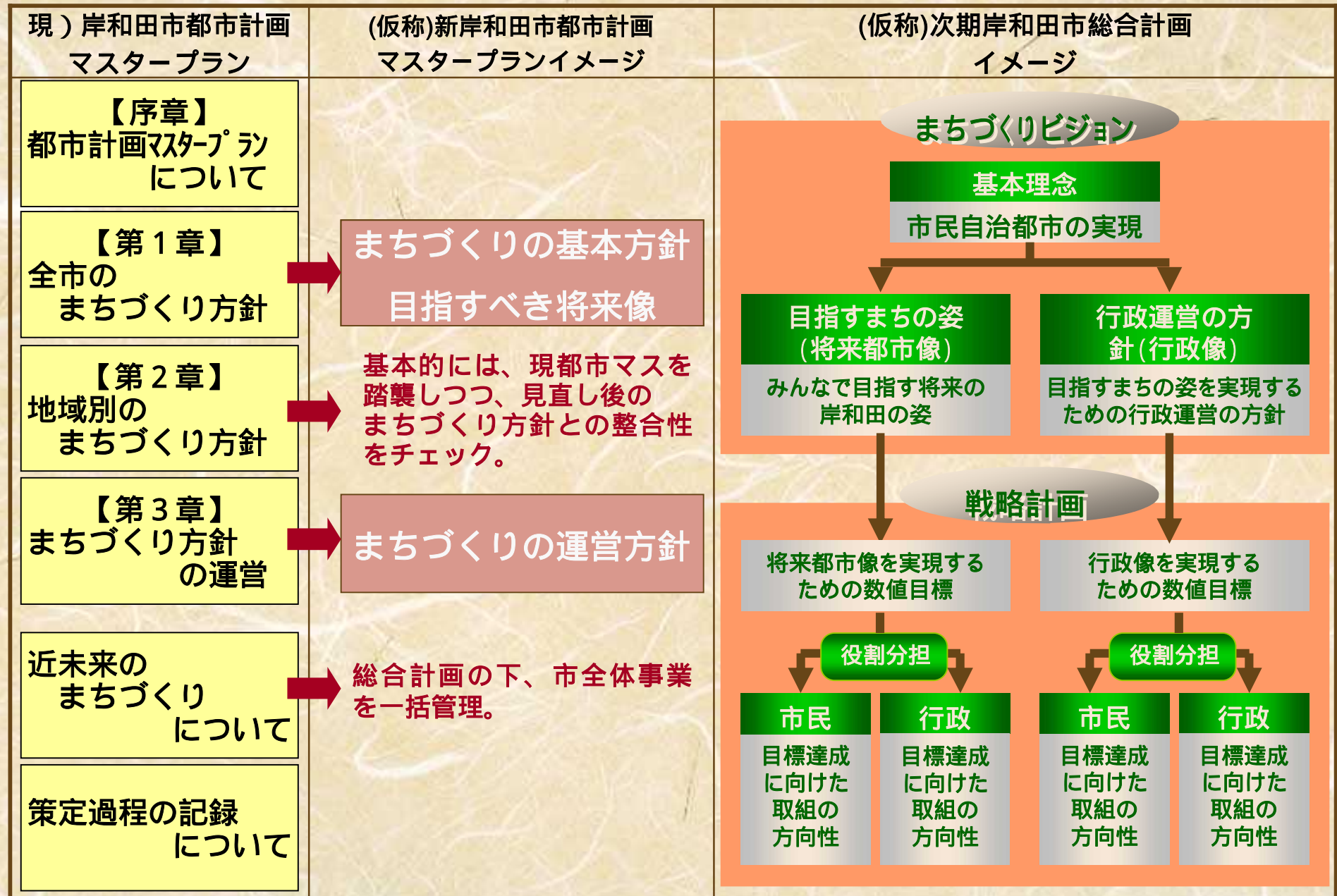
個別のまちづくり計画を総合的に評価する指針となる

- ・ 都市の将来像に基づき、土地利用、環境共生、景観形成、都市防災等の視点から、個別のまちづくり計画を総合的に評価する際の指針としての役割

市民によるまちづくり活動の方向を示す

- ・ 市民や事業者、行政がまちづくりに取り組む上での考え方を示すことにより、実現すべき都市像に向けた市民主体のまちづくりの取り組みを促進する役割

(3) 都市計画マスタープラン見直しイメージについて



(仮称)新岸和田市都市計画マスタープランの構成イメージ

資料編	・基礎資料	・人口推計等各種基礎データ、市民アンケート等
	・地区別まちづくり 基礎資料 (まちづくりカルテ)	・各地区のまちづくり基礎データの整理、分析 ・コミュニティまちづくりの課題抽出の基礎となる とともに、まちづくりの成果指標となる。
本 編	・基本的な考え方	・まちづくりの基本方針、目指すべき将来像
	・全体構想	<ol style="list-style-type: none"> 1．土地利用の方針 2．道路・交通の方針（道路・鉄道・バス） 3．環境共生の方針（自然環境・緑・公園・農地） 4．その他の都市施設の方針（下水・51条等） 5．市街地の方針（拠点整備） 6．住環境の方針（住宅地） 7．景観形成の方針 8．都市防災の方針
	・地区別構想	・地区ごとにまちづくりの方針、目標とすべき将来像を示す。